

領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域): 「情報メディア発展のもとでの新しい地域研究」
- ◆研究テーマ: 「地域社会の災害レジリエンス強化に向けて—SNSとクラウドGISを用いた共時空間型地域研究」

研究期間: H26.10~H29.9
委託費総額: 11,770千円

<研究代表者>

古澤拓郎: 京都大学大学院

アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授

<専門分野>

地域研究、人類生態学

<Webページ>

<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/furusawa/>



<研究計画の特徴>

- ・スマートフォンとSNSの活用
- ・クラウドを用いた地理データの共有(写真: Instagramの例)
- ・科学・技術インタープリターによるフィードバック



慢性化した天災: 洪水、干ばつ、サイクロン、有害藻類ブルーム、など
社会変化に伴う人災: 違法伐採、密漁、など

<研究目的・概要>

・アジア・太平洋の地域社会が、様々な災害や資源管理の課題に直面している



地域社会と研究者が、リアルタイムに相互に協力しながら、災害レジリエンスを高める必要がある

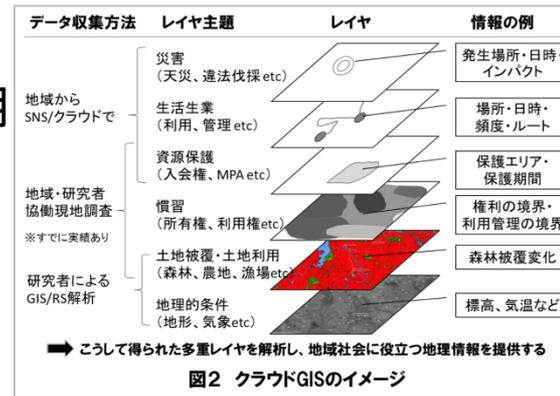
<目標とする研究成果>

(1) 在地の防災知識・技術の解明

・地域研究と防災学から地域の防災の有効さや問題点を明らかにする

(2) 気候変動や社会経済変動下における地域社会の新しい災害レジリエンスの解明

・在来の知識・技術では対応できなくなりつつある災害に、地域の資源を活かして対応する能力を地域研究・防災学から解明し、それを分かりやすく現地還元する



- ・リアルタイムな対話型協働
- ・クラウドを通じた衛星データと現地情報の融合
- ・研究成果の地域還元



ICT技術を用いた新しい共時空間型・実践型地域研究により、課題解決に貢献する